



福島県社会保険労務士会

発行担当者 副会長 菅野 隆

<http://www.fukushima-sr.com/>

E-mail fukusha@green.ocn.ne.jp

〒960-8252

福島市御山字三本松 19-3

TEL 0 2 4 - 5 3 5 - 4 4 3 0

FAX 0 2 4 - 5 3 4 - 5 4 3 2

目 次

P1 県会情報

- ・今年度の県会研修会
- ・年金・労働総合相談所
- ・電子申請

P2 連合会情報

- ・労働保険雇用保険の事業所番号に係る調査
- ・中小企業庁「新卒者就職応援プロジェクト」

関係機関だより

- ・協会けんぽ
- ・社会保険ふくしま

P3 事務局だより



1. 新入会員研修会の開催について(P11~14)

申込締切日 1 月 25 日(火)

2. 電子申請に関するアンケート(P15) 締切 2 月 15 日(火)

県 会 情 報

1. 今年度研修会の予定

倫理 研修	1月17日 (月) 13:00~16:30 ビッグパレットふくしま	社会保険労務士の職業倫理等 の解説、グループディスカッ ション、事例解説	副会長 金子昌明氏
新入会員 研修会	2月4日 (金) 13:00~ 5日 (土) 12:00 ホテル華の湯	組織・権利等について、委託契 約締結の留意点、顧問先開拓と 事務所経営、所得税と消費税等	会長他
年金・労働総 合相談所 第2回研修会	3月11日 (金) 13:00~17:00 コラッセふくしま 参加費3,000円	A D R センターとの連携及び基 準法等違反事案の取扱いの説 明、事例研修	弁護士 木村恵子氏

※倫理研修受講対象者各位

平成 22 年 10 月 12 日付福島社発第 139 号開催案内文にてご通知しておりましたとおり、遅刻、早退を合わせて 30 分以上の者は未修了となりますので、当日の天候等を十分考慮し、会場にお越しく下さい。また、月刊社会保険労務士 12 月号 (P18~20) によりグループディスカッションに使用する「設例問題」について事前に自己学習をお願いいたします。

※新入会員研修会に参加希望する方は開催案内をご覧のうえ「参加申込書」(P13) にて **1 月 25 日 (火) まで**にお申込ください。

※年金・労働総合相談所研修会の開催案内及び申込書については 2 月 (2/10 発送予定) の月間情報に同封いたします。

2. 年金・労働総合相談所について《これまでの相談件数》

実施	労働		年金	
	申込件数	相談件数	申込件数	相談件数
22 年度(11 月)	9 件	7 件	14 件	14 件
12/22(水)	1 件	1 件	0 件	0 件
今年度実績	10 件	8 件	14 件	14 件
総計	H15.6～22.12 111 件		19.7～22.12 70 件	

相談員 宍戸宏行
菱沼直子

【次回相談日】

1月26日(水)
相談員 金子昌明
杉原正雄

*** 電子申請 ***

電子化推進特別委員会

○電子申請の利用促進を図ることを目的に、支部ごとの申請件数を取りまとめ月間情報において公表しております。今年度11月までの集計はP4のとおりです。

○電子申請に関するアンケート(P15)についてご協力をお願いいたします。



連合会情報

1. 労働保険雇用保険の事業所番号に係る調査について (P5～7)
2. 中小企業庁「新卒者就職応援プロジェクト」について (P8)

関係機関だより

協会けんぽ

1. 健康保険被保険者証並びに船員保険被保険者証の記載事項の変更について (P9～10)

2. 月刊健宝、メールマガジン配信

協会けんぽ福島支部では、毎月「月刊健宝」を発行しており、健康保険制度のタイムリーな情報をお伝えしております。

協会けんぽHP 福島支部 広報紙「月刊健宝」のページをご覧ください。

<http://www.kyoukaikenpo.or.jp/13.0.78.493.html>

また、協会けんぽ福島支部では、メールマガジンを配信しております。配信を希望される方であればどなたでも無料で登録できます。パソコンのメールに健康保険に関する最新の情報が直接届きます。(毎月5日頃配信)

登録はHPから簡単にできます。詳しくは協会けんぽ福島支部HPをご覧ください。

<http://www.kyoukaikenpo.or.jp/13.47622.78.639.html>

3. 社会保険ふくしま(財団法人福島県社会保険協会発行)については、ホームページをご覧ください。福島県社会保険協会HP <http://www.f-shimakyokai.or.jp>

事務局だより

会務報告及び予定

- 12月 7日 一般事業主行動計画策定等支援事業第3回検討委員会（事務局）
 10日 いわき支部研修会
 13日 会津支部研修会
 16日 第2回広報委員会（事務局）、
 平成22年労働相談・個別労働紛争解決制度関係機関連絡協議会合同研修会（福島合同庁舎）
 18日 新規年金相談員養成研修会第3回グループ研修（コラッセふくしま）
 21日 年金・労働総合相談所正副所長会議（事務局）
 22日 第92回年金・労働総合相談所（事務局）
- 1月 6日 関係機関・団体等新年挨拶まわり、正副所長会議（事務局）
 一般事業主行動計画策定等支援事業第4回推進委員会（事務局）
 7日 行政書士会新年賀詞交歓会（郡山ビューホテルアネックス）
 13日 連合会理事会、賀詞交歓会（東京会館）
 15日 新規年金相談員養成研修会 第4回グループ研修（コラッセふくしま）
 17日 倫理研修（ビッグパレットふくしま）
 19日 第2回経営労務監査推進特別委員会、第3回理事会（事務局）
 21日 司法書士会新年会（ホテル辰巳屋）
 26日 第93回年金・労働総合相談所（事務局）
 29日 平成22年度フォローアップ研修（福島テルサ）
- 2月 4日～5日 新入会員研修会（ホテル華の湯）

会員異動報告

	支部	名簿	氏 名	事務所・勤務先の名称・所在地・電話番号等
【入会】	郡山	12/15 付 入会 勤務	サカハラ タツヤ 相楽 達也	(株)荒井会計事務所 郡山市朝日三丁目 5-3 TEL 024-922-1188 FAX 024-922-1163
	いわき	12/15 付 入会 勤務	タカ タシ 田中 貴志	あすか社会保険労務士法人 いわき市平谷川瀬字仲山町 10-1 グラン S A T O U F L TEL0246-38-9001 FAX 0246-24-3243
	郡山	1/1 付 入会 開業	サンパイ ヒロミツ 三瓶 博光	あおぞら社会保険労務士事務所 郡山市安積町日出山 3 丁目 56 TEL 024-956-7770 FAX024-943-5711
【退会】	福島	P5	菅野 要	12/31 付登録抹消



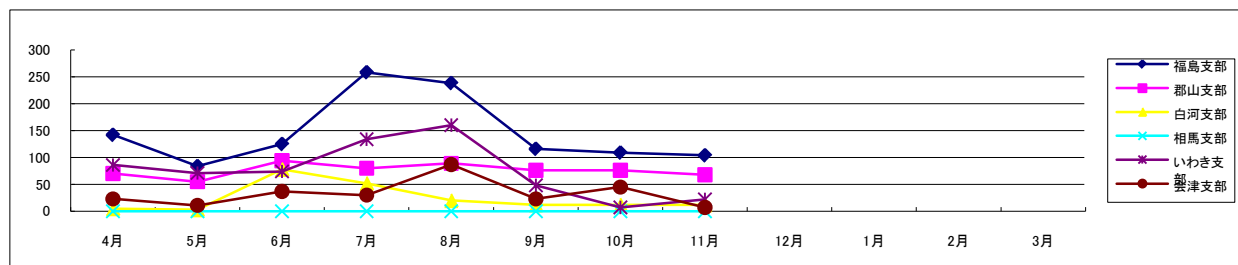
謹んで新春のお慶びを申し上げます

旧年中はたいへんお世話になり厚く御礼を申し上げます。
 皆様には健やかに新年をお迎えになったことと拝察いたします。
 新しい年を迎えまして皆様のご発展とご多幸をお祈りし、
 今年もご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

事務局職員一同

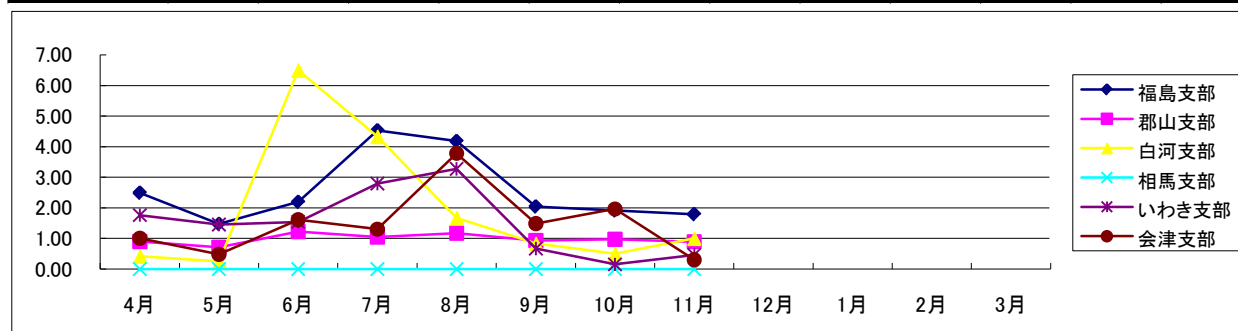
1 各支部電子申請件数推移(H22.4～H23.3)

支部名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
福島支部	142	84	125	258	238	116	109	104				
郡山支部	70	55	94	80	89	76	76	68				
白河支部	5	3	78	52	20	12	12	12				
相馬支部	0	0	0	0	0	0	0	0				
いわき支部	86	71	74	134	160	48	7	22				
会津支部	23	11	37	30	87	23	45	7				



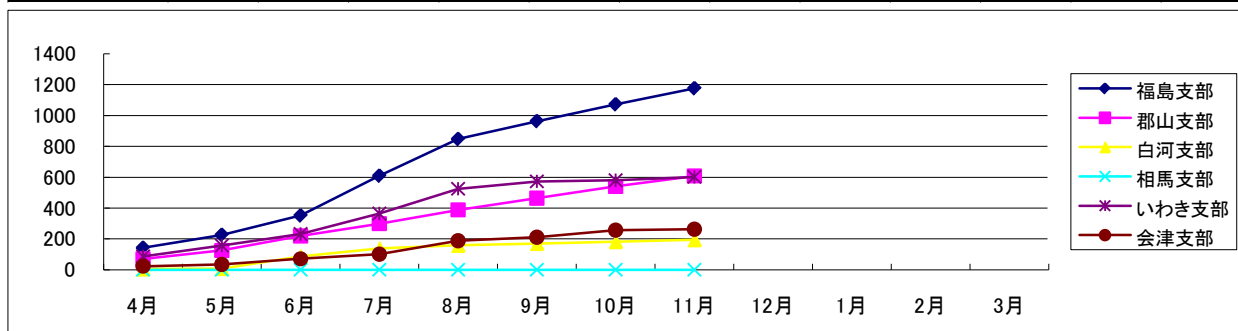
2 各支部開業会員一人当たり電子申請件数推移(H22.3～H23.3)

支部名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
57 福島支部	2.49	1.47	2.19	4.53	4.18	2.04	1.91	1.79				
76 郡山支部	0.90	0.71	1.22	1.04	1.17	0.93	0.97	0.89				
12 白河支部	0.42	0.25	6.50	4.33	1.67	0.83	0.5	1.00				
14 相馬支部	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0.00				
49 いわき支部	1.76	1.45	1.54	2.79	3.27	0.67	0.15	0.46				
23 会津支部	1.00	0.48	1.61	1.30	3.78	1.48	1.96	0.30				



3 各支部電子申請件数累計(H22.4～H23.3)

支部名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
福島支部	142	226	351	609	847	963	1072	1176				
郡山支部	70	125	219	299	388	464	540	608				
白河支部	5	8	86	138	158	170	182	194				
相馬支部	0	0	0	0	0	0	0	0				
いわき支部	86	157	231	365	525	573	580	602				
会津支部	23	34	71	101	188	211	256	263				



【委員長コメント】

申請件数は前年同期比で、約2.2倍という素晴らしい数字です。また、多くの会員の皆様もすでにご存じのとおり、現在雇用保険関係の電子申請受け付けが一時停止しております。再開後は、電子公文書が発行されることになるようですし、来年夏頃には、離職票の発行に係る手続きも電子申請が可能になるようです。毎回申し上げますが、電子申請は1・2号業務独占化への大きな一歩につながるものです。もはや、躊躇している時期ではないのではないでしょうか。このことをご理解頂き、まずは、電子申請に挑戦してください。(最初の煩わしさをクリアすれば、紙の手続きがどれほど非効率的な作業であるかを実感できるはずです。)

基労徴発 1209 第 2 号
職 保発 1209 第 2 号
平成 22 年 12 月 9 日

全国社会保険労務士会連合会会長 殿

厚生労働省
労働基準局労災補償部労働保険徴収課長
職業安定局雇用保険課長

事業所番号に係る調査について

日頃より、労働保険・雇用保険制度の運営に当たりまして、御理解、御協力を賜り感謝申し上げます。

標記につきまして、現在、労働保険に係る事業所の情報については労働保険番号で、雇用保険に係る事業所の情報については雇用保険適用事業所番号で、それぞれ管理しているところですが、今般、事業主の方の事務負担の軽減や、届出漏れの確認を容易にするための体制整備を図る観点から、両番号の対応関係を整理することとしたところです。

両番号の対応関係の整理に当たっては、先ず、両官署で管理している台帳を突合させ、事業所名称等事業所の基本情報が一致しているかどうかを確認することにより整理を進めているところですが、両台帳の事業所の名称等の基本情報が一致していない事業所については、両事業所の同一性が確認できないため、両番号の対応関係を明らかにできません。このため、当該事業所については、下記のとおり、事業主の方に調査票を送付し、当該事業所に付与されている労働保険番号等を記入していただくことにより、両番号の対応関係を確認することとしているところです。

つきましては、このことにつき、貴連合会の御理解を賜りますとともに、社会保険労務士への周知、本調査への協力依頼方、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

記

1 調査の概要

(1) 調査票

別紙のとおり。

(2) 調査期間

調査票の送付は、次のとおり、2回に分けて行うこととしていること。

① 第1回送付分

平成 22 年 12 月 10 日(金)発送、平成 23 年 1 月 21 日(金)締切

② 第2回送付分

平成23年1月12日(水)発送、平成23年2月10日(木)締切

2 調査の効果

全ての事業所について、労働保険番号と雇用保険適用事業所番号との対応関係が明らかになることにより、将来的には、次のような体制整備を図ることが考えられること。

- (1) 事業所が移転した場合など事業所の情報を変更する必要がある場合の届出が労働基準監督署、公共職業安定所のどちらか一方で済むようになり、事業主の事務負担の軽減が図られること。
- (2) 労働保険料の納付対象となる被保険者数と公共職業安定所に届出を行っている被保険者数の確認が容易になり、届出漏れを防止できるようになること。

労働保険、雇用保険の届け出簡素化のための調査にご協力をお願いします。

日頃より、労働保険の各種手続きに関する適正な届出等について、ご理解・ご協力を賜り、感謝申し上げます。

本調査は、これまで、労働基準監督署と公共職業安定所（ハローワーク）との2カ所で必要であった事業所の届出（所在地や名称の変更など）が、将来的には、どちらか1カ所の届出で済むようになるなど、事業主の方の利便性を向上すること等を目的としています。

ご多忙中恐縮でございますが、下記の調査票に「労働保険番号」をご記入のうえ、送付くださいますようお願い申し上げます。

なお、本調査に関しまして、ご不明な点がございましたら、労働保険番号調査事務局（フリーダイヤル 0120-820250〔年末年始を除く平日9:00～17:00〕）までお問い合わせください。

また、厚生労働省のホームページにも本調査のご案内を掲載していますので、下記アドレスもご参照ください。
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/koyou/dl/koyouhoken05.pdf>
今後ともよろしくお願い申し上げます。

調査票は

までに送付してください。

調査票記入要領

1 「労働保険番号」の記入をお願いします。 **必須** (調査票の **A欄** にご記入ください。)

- 「労働保険番号」は、全ての事業所に付与されている番号です。
- 「労働保険番号」は「保険関係成立届」の事業主控により確認することができます。また、毎年労働局より事業所あてお送りしております「年度更新申告書」にも印字してあります。

※社会保険労務士、労働保険事務組合に委託されている場合には、本調査への回答に当たっては、委託先である社会保険労務士、労働保険事務組合にも御相談ください。

数字の書き方

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

HB以上のシャープペンまたは黒鉛筆（ボールペン等は不可）でガイドラインにそって記入してください。

2 「整理番号」の記入をお願いします。 **該当する場合** (調査票の **B欄** にご記入ください。)

- 「整理番号」とは、複数の事業所の労働保険料の申告・納付を一つにまとめて行うことが認められている場合（継続事業の一括の認可を受けている場合）に、一つにまとめた事業所（指定事業）の労働保険番号とは別に、まとめられたそれぞれの事業所（被一括事業）に付与される4桁の番号です。
- 貴事業所が継続事業の一括の認可を受けている場合、労働保険番号及び整理番号は、通常、労働保険に関する事務を行っている指定事業（本社等）が管理しています。
- 貴事業所が継続事業の一括の認可を受けている場合には、「整理番号」の記入をお願いします。また、労働保険番号は、指定事業の労働保険番号を記入してください。
- 貴事業所が継続事業の一括の認可を受けていない場合には、「整理番号」の記入をしていただく必要はありません。
- 「整理番号」は指定事業を管轄する労働局から送付された「継続事業一括認可等通知書」により確認することができます。

返信ハガキ

調査票

貴事業所の「雇用保険適用事業所番号」は、以下のとおりです。

記入要領をご確認のうえ、貴事業所の「労働保険番号」（必須）と「整理番号」（継続事業の一括の認可を受けている場合のみ）を次の□内に記入してください。

A欄 労働保険番号 ▶ 必ず記入してください。

都道府県	所掌	管轄(1)	基幹番号	枝番号
□□	□	□	□□□□□□□□	□□□□

B欄 整理番号 ▶ 継続事業の一括の認可を受けている場合のみ記入してください。

□□□□

※機械で読み取りを行いますので、折り曲げたり、汚したりしないようご注意ください。

ご記入後、この面に情報保護シールを貼付していただき、切手を貼らずに郵便ポストに投かんしてください。

ご協力ありがとうございました。

調査票は

までに
送付してください。

ミシン目にそって切り離して
送付してください。

新卒者の就職／ 中小企業の人材確保を支援します！

新卒者就職応援プロジェクト

- 未就職の新卒者及び来春の卒業者等を対象に、中小企業の現場等で実習プログラムに沿った**職場実習（いわゆるインターンシップ）**を行うものです。
 - 実習期間は原則6ヵ月、実習生と受入企業に助成金を支給します。
 - コーディネート機関が、事前カウンセリングから実習終了まで、きめ細かく支援します。
- 是非、本プロジェクトにご参加下さい。

参加する受入企業・新卒者への助成

- ・ 受入企業
教育訓練費助成金日額 3,500円
 - ・ 実習生
技能習得支援金日額 7,000円
- ※現役学生の方の場合など実習生向け助成金を支給しない場合があります。

詳細は

<http://www.hashiwatashi.net/>

合同就職説明会

- 全国各地で、中小企業団体や地域の金融機関、大学等が連携して、**合同就職説明会を開催**しています。



詳細は

<http://www.hashiwatashi.net/>

ドリームマッチプロジェクト

- **インターネット求人サイト等**を活用して、雇用意欲の高い中小企業と学生のマッチングを支援しています。
- 今後、U・Iターン向け採用イベントや、WEB企業説明会等を実施する予定です。



詳細は

<http://dream-match.jp/index.html>

ジョブカフェ

- 各地のジョブカフェで、若者と中小企業との雇用のミスマッチ解消を図るため、**雇用意欲のある企業の情報発信**や**若者との出会いの場**の提供などを行っています（※地域によってサービス内容は異なります。）。

詳細は

http://www.meti.go.jp/policy/jobcafe/jobcafe_all.html

協会けんぽが発行する被保険者証の記載事項の変更について

健康保険法施行規則及び船員保険法施行規則の一部改正に伴い、協会けんぽが発行する被保険者証の記載事項を変更することになりました。

なお、すでに発行している被保険者証の更新（差し替え）はありません。

《変更時期》

平成 23 年 4 月 1 日から

《変更内容》

ア 事業所所在地の表示がなくなります。

イ 記号・番号の表示が大きくなります。

被保険者証イメージ

健康保険被保険者証		本人（被保険者）	00124
		平成 22 年 4 月 3 日交付	
記号		12345678	番号 123456
氏名	ケンボ タロウ	健保 太郎	性別 男
生年月日	昭和 44 年 12 月 2 日		
資格取得年月日	平成 22 年 4 月 1 日		
事業所所在地	〇〇市〇〇町 1-2-3		
事業所名称	〇〇〇〇 株式会社		
保険者番号	01010011		
保険者名称	全国健康保険協会 〇〇支部		
保険者所在地	〇〇市〇〇町〇-〇-〇		
		印	

変更前

変更後

健康保険被保険者証		本人（被保険者）	00124
		平成 22 年 4 月 3 日交付	
イ 記号		12345678	番号 123456
氏名	ケンボ タロウ	健保 太郎	性別 男
生年月日	昭和 44 年 12 月 2 日		
資格取得年月日	平成 22 年 4 月 1 日		
事業所所在地	ア		
事業所名称	〇〇〇〇 株式会社		
保険者番号	01010011		
保険者名称	全国健康保険協会 〇〇支部		
保険者所在地	〇〇市〇〇町〇-〇-〇		
		印	

《発行済の被保険者証》

平成 23 年 4 月 1 日以降に発行する被保険者証から記載事項が変更となります。

すでに発行されている被保険者証の更新（差し替え）はありません。

（すでに発行済の被保険者証は従来どおり使用できます。）

《事業所の名称・所在地変更》

事業所名称等が変更となった場合の被保険者証の差し替えは次のとおりとなります。

ア 事業所名称の変更

被保険者証の差し替えを行います。

イ 同一都道府県内での所在地変更

被保険者証の差し替えはありません。

ウ 他の都道府県への所在地変更

管轄する協会支部が変わり、被保険者証の記号などが変更となりますので、被保険者証の差し替えを行います。

《船員保険の被保険者証》

船員保険の被保険者証についても同様に「船舶所有者所在地」の表示を無くすこととしています。（「船舶所有者氏名」は従来通り表示します。）

《その他（参考）》

1 改正の趣旨

被保険者証の記載事項について、「「国民の声集中受付月間（第1回）」において提出された提案等への対処方針について」（平成22年6月18日閣議決定）において、保険者の事務負担を軽減する観点から、事業所の名称及び所在地の記載を省略できるようにすることとしたことを踏まえ改正されました。

2 改正の内容

（1）健康保険法施行規則（大正15年内務省令第36号）の一部改正（改正省令第1条及び附則第2条関係）

イ 被保険者証提出義務の見直し（第48条関係）

被保険者は、被保険者証の事業所の名称又は所在地に変更が生じた場合に、保険者に被保険者証を提出することとしていたが、これを不要としたこと。

ロ 被保険者証の「事業所名称」及び「事業所所在地」の記載の削除（様式第9号（1）表面及び様式第9号（2）表面関係）

被保険者証の記載から「事業所名称」及び「事業所所在地」の記載を削除したこと。

ハ 経過措置（改正省令附則第2条関係）

① この省令の改正前の様式による被保険者証については、当分の間、改正後の様式による被保険者証とみなすこととしたこと。

② この省令の改正前の様式による被保険者証については、事業所名称等に変更があった場合に、変更前の事業所名称等が記載された被保険者証を用いることのないよう、この省令の改正前の健康保険法施行規則第48条を適用することとし、被保険者は、事業所の名称又は所在地に変更が生じた場合、遅延なく、被保険者証を保険者に提出しなければならないこととしたこと。

（2）船員保険法施行規則（昭和15年厚生省令第5号）の一部改正（改正省令第2条及び附則第3条関係）

（1）に準じた改正を行うこととしたこと。

3 協会けんぽで発行する被保険者証の表示方法について

被保険者証の「事業所名称」及び「事業所所在地」（またはいずれかの一方）は、保険者の判断で引き続き記載しても良いことになっています。

協会けんぽで発行する被保険者証は、事業所名称をそのまま残すこととしています。そのため、事業所名称に変更があった場合は、従来通り、被保険者証の差し替えを行います。

また、被保険者証の記号番号（数字）を見やすくするため、文字の表示を大きくします。

福島社発第 224 号
平成23年 1月12日

会 員 各 位

福島県社会保険労務士会
会 長 鈴 木 健 夫

新入会員研修会の開催について

謹啓 新春の候ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃、当会の運営については、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、このたび新入会員研修会を下記により開催することといたしました。

この研修会は、特に開業5年未満の会員の方において、社労士法、会の目的、組織、会員の権利・義務、諸規程、日常業務等について、基本的内容を受講していただき、関係行政や顧客に対して信頼される業務の遂行と品位の保持の行うものです。

については、万障お繰り合わせのうえご出席くださいますようご案内申し上げます。

謹白

記

1. 日 時 平成23年2月4日（金）13:00～
2月5日（土）12:00

2. 場 所 ホテル華の湯
(郡山市熱海町熱海5丁目8-60 TEL024-984-2222)

3. 内 容

1日目 2月4日（金）

12:30～受付

13:00～ 会長挨拶

13:10～14:00 社労士制度の概要、社労士会の組織・権利・義務・会則等について
講師:福島県社会保険労務士会 会長 鈴木 健 夫

14:00～14:30 夢を現実に変えるプロセス
講師:業務委員会 委員長 渡 部 弘 志

14:45～16:15 顧問先開拓と事務所経営
講師:福 島支部 佐 藤 巨 人 会員
郡 山支部 佐 藤 知恵子 会員
いわき支部 菊 地 秀 明 会員

16:30～17:30 座談会（質疑懇談）

2 日目 2 月 5 日 (土)

9 : 00～10 : 00 委託契約締結とその留意点及び基本倫理
講師：福島県社会保険労務士会 副会長 金子昌明

10 : 00～10 : 30 労働保険事務組合について
講師：郡山支部 山田正男 会員

10 : 40～12 : 00 所得税及び消費税
講師：福島県社会保険労務士会監事・税理士 川村雄一郎 会員

4. 受講対象者 開業 5 年未満の会員及び希望会員

5. 懇親会 平成 23 年 2 月 4 日 (金) 18 : 30～ ホテル華の湯
宿泊費 (懇親会費込み) 12,500 円

※宿泊費については当日申し受けます。

※研修会参加者は原則宿泊となります。

※入会または開業 5 年未満 (平成 18 年 2 月～平成 23 年 1 月の間に入会
または開業) の宿泊者には 5,000 円の補助をします。
(過去に助成を受けた会員は対象外となります)

6. 申込み方法 別紙「参加申込書」及び「新入会員研修会事前アンケート」により 1 月
25 日 (火) まで事務局にお申込みください。
(FAX 024-534-5432、e-mail : fukusha@green.ocn.ne.jp)

《ホテル華の湯 案内図》



締切 1月25日(火)

新入会員研修会参加申込書

平成23年2月4日(金)～5日(土)

福島県社会保険労務士会行

(FAX : 024-534-5432 e-mail : fukusha@green.ocn.ne.jp)

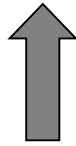
所属支部 _____ 支部 _____ 氏名 _____

新入会員研修会 (必ずどちらかに○をつけてください)

2月4日(金)	参加	不参加
2月5日(土)	参加	不参加
宿 泊	有	無

※入会または開業5年未満(平成18年2月～平成23年1月の間に入会または開業)の宿泊者には5,000円の補助をします。(過去に助成を受けた会員は対象外となります)

※参加者は原則宿泊となります。



FAX 024-534-5432

提出期限 平成23年1月25日

平成22年度 福島県社会保険労務士会 新入会員研修会事前アンケート

このアンケートは、来たる2月4日・5日の両日に亘り新人研修会を開催するに当たり、皆様の要望や意見さらには意向をある程度事前に確認し、当日の座談会のテーマや研修に活かし、より有意義なものにするために行うものであり、それ以外の目的には決して使用しませんので、屈託のない意見を御願い致します。
(※平成23年1月25日までに参加者全員回答を御願い致します。)

会 員 名				
入会年月日	平成	年	月	日
開業年月日	平成	年	月	日

所 属 支 部				
開業	・	法人の社員	・	勤務等

次の質問に、○を付して回答を御願い致します。その他の場合は()に具体的に記入して下さい。
(※回答したくない質問につきましては、空欄でも結構です。)

1 開業会員の方にお尋ね致します。今の事務所の状況は、開業前に想定していたものと比較して、どうですか?

①計画を上回り、順調である
②ほぼ計画通りである
③予定を下回る
④予定を大幅に下回る
⑤予定とは全く異なり、目の前が真っ暗である
⑥その他()

2 今、不安に思っていることは何ですか?(勤務含む)
(※複数回答可)

①事務所の現状
②顧客獲得
③業務知識の研鑽
④顧問契約の締結・交渉
⑤同業者及び隣接士業との係わり方
⑥開業のタイミング
⑦その他()

3 特にどんな点が不安ですか?(※複数回答可)

①顧客がなかなか獲得出来ない
②事務所・設備・備品
③業務の範囲
④資金繰り
⑤業務の単価
⑦全社連の会員数の増加
⑥企業の業績不振
⑧その他()

また、支部内に親身になって相談する先輩や同時期入会の社労士あるいは隣接士業等がいますか?

①いる
②いない
③他支部や他県にいる

4 開業会員の方にお尋ね致します。顧客獲得のために何をしていますか?(※複数回答可)

①戸別訪問をしている
②DM・FAXを利用している
③顧問先や知人等の紹介
④ホームページを作成している
⑤行政協力に積極的に関与しながら開拓している
⑥特にしていない
⑦その他()

5 業務知識の研鑽のためには、特にどんな点において不安ですか?(※複数回答可)

①学んだ事が、生きた知識として実践で活かされない
②学びたいテーマを研修する場が少ない
③不得手部門をなかなか解消出来ない
④法改正等が頻繁で、気が休まる時がない
⑤業務のうちの特化した部門での研究会が少ない
⑥その他()

6 開業会員の方にお尋ね致します。顧問契約はどの様に取り交わしておりますか?(※複数回答可)

①連合会の書式を使っている
②自分で独自の書式を作成している
③取り交わした事が無い
④特には書類を作成せずに、話し合いで決めている
⑤その他()

7 今後、同業者及び隣接士業とどう係わった方が良いと思いますか?(※複数回答可)

①士業はもともと一匹狼であり、係わりは必要ない
②どう係わりを持ったら良いか、係わり方がわからない
③同支部会員とは営業範囲が競合するから必要がない
④業務提携によるワンストップ型を目指す
⑤隣接士業とは、周辺知識習得のため積極的に係わる
⑥その他()

8 勤務会員の方にお尋ね致します。開業するとした場合に特に何が不安ですか?(※複数回答可)

①現在得ている会社からの給料がなくなる
②開業後の見通し
③設備資金(OA機器等備品)
④開業後の当面の運転資金
⑤営業が不慣れであること
⑥開業後に必要とされる業務知識
⑦その他()

9 県会や支部に対して、何か望むこと、期待することがありましたら記入して下さい。(座談会のテーマでも結構です。)

1	
2	

電子申請に関するアンケート

福島県社会保険労務士会 電子化推進特別委員会

H22年度

このアンケートは、電子申請について会員の皆様の率直なご意見をお聞かせ頂き、電子申請の普及促進のための要望や具体的事業内容等を決定するための資料とすることを目的として実施するものです。日頃、皆さんが感じておられることや、ご意見・ご要望をお気軽にお聞かせ下さい。

※2月15日までに、県会事務局宛

ファクシミリ 024—534-5432

e-メール fukusha@green.ocn.ne.jp

いずれかにてご送付ください。

【質問1】

本年度において、電子申請を利用しましたか。

- ① はい ② いいえ

【質問2】

質問1で「はい」とお答えいただいた会員にお聞きします。月平均何件程度電子申請により申請届出をしますか。

月平均 件程度 （社会保険 件 雇用保険 件）

【質問3】

質問1で「はい」とお答えいただいた会員にお聞きします。今後電子申請を継続して実施していきますか。また、その理由をお聞かせください。

- ① は い ② いいえ

【質問3の理由】

【質問4】

質問1で「いいえ」とお答えいただいた会員にお聞きします。電子申請を利用しない理由をお聞かせください。

【質問4の理由】

【質問5】

昨年度及び本年度において、電子化推進特別委員会では、登録会員のご協力を得て、各月ごとの電子申請件数をグラフ化し、電子申請利用促進の啓発活動を実施して参りました。このことについてどのように評価されますか。

- ① 大いに評価する ② 評価する ③ どちらとも言えない
④ どちらかという評価できない ⑤ まったく評価できない

【質問6】

その他、電子申請を利用するにあたってのご要望や委員会活動等についてご意見・ご要望等ございましたらお聞かせください。

【ご意見・ご要望等】